

玉山国立公園生態保護区登山計画書模範例

新康横断線

説明：

その他ルートは既定ルートではないため、計画された登山道・標識・セキュリティおよび宿泊施設など人工的な建物はなく、しかも本所が定期的に巡回検査をしているエリアではありません。入園前に例えば体力・技術的なトレーニング・ルートに対する理解・危機処理能力・不備の無い留守番(待機) 人員およびバックアップ計画等安全に関する登山出発前の準備を自身で確認する必要があります。入園時は自分の力に合わせてください。山道は崖崩れ等困難な地形・落石・野生生物等自然のリスクに常に晒らされています。もし危険や困難に遭遇した場合は、無理に通過せず、安全第一を原則としてください。歩行時や宿営時には、元来の自然生態環境を破壊しないようにしてください。また生態保護区元来の自然生態環境を保存するために、その他ルートは登山活動のニーズにより、関連施設を増設しないことを原則とします。

その他ルートを申請する時は、登山計画書をアップロードしてください。登山計画書は登山チームが事前に詳しく登山出発前の準備、例えば行程計画・携行品・チームメンバーの経験や体力評価・エスケープルート(計画を変更した時の下山ルート)・緊急事故処理計画・家族や知人への報告および生態環境維持等の事項のお手伝いも可能です。

内容は計画に従って変更可能：

● チーム基本情報：

旅程の計画：

(嘉明湖と戒茂斯は国立公園の範囲外です。入場の申し込みは必要ありません。嘉明湖国立トレイルの後で申し込みを開始してください。)

キャンプ場所のお知らせ：桃源キャンプ-新仙山前キャンプ、抱崖山小屋/キャンプ、瓦拉米山小屋/キャンプ、その他の場所は任意に滞在またはキャンプすることはできません。

第一日	〇月〇日	嘉明湖国立トレイル-布新キャンプ(公園の外)-布拉克桑山(公園の外)- 布新キャンプ(公園の外)
第二日	〇月〇日	布新キャンプ(公園の外)-桃源キャンプ-新仙山前キャンプ
第三日	〇月〇日	新仙山前キャンプ-新康山-新仙山前キャンプ-抱崖山屋/キャンプ
第四日	〇月〇日	抱崖山小屋/キャンプ-瓦拉米山小屋/キャンプ地-南安登山口
		(旅程を調整または増減する必要がある場合は、自分で変更してください)

● 血液型と病歴のある人事情報:(自分で記入してください)

- 備品：複雑な地形を通過、雪の季節期間に（アイゼン、氷斧、登山ヘルメットなど）個人およびグループの装備を準備してください。玉山国立公園のウェブサイト/登山情報/登山安全にご参考の程よろしくお願ひ致します
- チームメンバーの経験と体力の自己評価：

名前	長距離登山の経験力と体力を簡単に記入してください
OOO	南二段を登る経験があり、体調いいです。
	(ご自身で記入してください)

- エスケープルート：

地形・メンバー・天候状況に障害や困難が生じた場合は、園エリア内(関山前)の中之関あるいは天地稜線ルートに沿って、もとの道を後退し、規制に違反して進涇橋歩道ルートおよび天地から向陽までのまだ通行を開放していない自動車道区間を使用しないでください。園エリア外(関山以南)で遅延・障害・困難が生じた場合は、その他の例えば小関山林道・藤枝等の出入口に沿って下山してください。許可されていない入場日に公園に出入りすることはできません。

- リスク管理および緊急対応関連計画：

1. 園エリアの災害と天候情報を十分に理解するために、出発前に登山安全講習を行います。長距離縦走登山ルートにはよく路面の崩れ・

はっきりしない道・断崖・困難な地形等リスクのある区間があります
ので、あらかじめ多くの最新のルート情報を収集し、行程のリスクを
適切に評価してください。全てのチームメンバーが自身とチームの
安全の責任を負い、例えば体力・技術的なトレーニング・ルートに対す
る理解・危機処理能力・不備の無い留守番(待機)人員及びバックアップ
計画等安全に関する登山出発前の準備を自身で確認する必要があります。
す。

2. 全てのチームメンバーは皆十分な登山経験を持っていて、且つ個人
およびグループ用の装備を備え、並びに登山出発前準備が完了し、
関連する保険に加入していなければなりません。
3. 行程の中で悪天候(豪雨・台風等)に遭遇する可能性がありますので、
登山に行くのを避けるために、出発前には随時天候やルート開放状況
に注意を払ってください。
4. 親族(緊急連絡先/留守番(待機)人員)にきちんと登山の行程・起こり
うるリスクおよび緊急連絡事項を告知し、長距離縦走登山行程で必ず
留守番(待機)人員と行程の把握と山岳事故救援時に、すばやく状況
把握できるように連絡の場所と時間を約束してください。
5. 登山時は自分の力に合わせてください。もし危険や困難に遭遇した
場合は、無理に通過せず、安全第一を原則としてください。登山では

高山病・低体温症や転落したり、道に迷ったり意外な事故が起こる
リスクがあります。随時チームのメンバーの状況・ルート of 状況・天候
に注意して、且つ予想外の事故を減らすために、メンバーが1人きり
になることを避けてください。歩行時や宿営時には、元来の自然環境
を破壊しないようにしてください。

● **生態環境の維持事項：**

1. 国立公園生態保護区に入るための関連規則を遵守してください。
2. 環境および生態への影響を軽減するために、山林に痕跡を残さない
(Leave No Trace)ガイドラインを充分理解してください。
3. 野生の動植物に影響を与えないようにし、いかなる廃棄物や物を残さ
ないようにしてください。
4. すでに申請許可されて入ったルートやエリアから離れないでくださ
い。
5. 国立公園の保全巡回検査及び行動に協力し、チームのメンバーに言動
を促すのを支援してください。